

2009（平成21）年度 収支予算・事業計画（案）

（ ）内は20年度予算額

《収入の部》

1	分担金	10,980千円	(10,760千円)
	都道府県・政令指定都市 6団体、市・特別区 128団体、市（人口5万未満） 27団体、町・村 87団体（計248自治体）からの年間負担金収入		
2	基金繰入金	—	( — )
	特別事業準備基金からの繰入金収入		
3	雑収入	3,585千円	(3,502千円)
	前年度繰越金、利息等の収入		
	収入予算額合計	14,565千円	(14,262千円)

## 《支出の部》

- 1 第26回総会の開催 900千円 (900千円)  
開催時期： 21年5月19日(火)  
開催場所： 長崎ブリックホール(長崎市)  
開催内容： 予算・事業計画、決算・事業報告、規約改正、役員体制等の審議・承認、決議ほか
- 2 役員会等の開催 2,800千円 (2,800千円)  
開催内容： 予算・決算・次期役員審議ほか
- (1) 第1回役員会(総会と同時開催)  
開催時期： 5月19日(火)  
開催場所： 長崎ブリックホール会議室(長崎市)
- (2) 第2回役員会  
開催時期： 22年2月頃  
開催場所： 長崎市
- (3) 会計監査  
開催時期： 4月23日(木)  
開催場所： 長崎原爆資料館(長崎市)
- 3 研修会の実施 700千円 (700千円)  
開催時期： 第1回 5月19日(火)(総会と同日)  
第2回 1月頃(役員会と同日)  
開催場所： 第1回 長崎市内  
第2回 長崎市内  
備考： 第2回研修会は長崎市で開催される地球市民集会ナガサキの開催に合わせて開催し、分科会の一つと位置付ける。
- 4 調査研究費 600千円 (600千円)  
未宣言自治体への宣言実施状況調査、及び未加入自治体への加入案内、参考図書購入・配布、未加入自治体等への勧誘、アンケート実施など

5 事業費 5,500千円 (3,000千円)

【継続事業】 3,000千円

ホームページによる情報発信、被爆アオギリ・クスノキの苗木の配布、巡回原爆展の開催、核実験等への抗議、親子記者事業など

【新規事業 (案)】 2,500千円

(1) 手づくり原爆展 500千円

概要： 現在行っている巡回原爆展資料について、より小スペースでも展示できるように、資料内容やサイズの見直しを行い、新たに原爆展セットを作成。自治体に限らず、民間団体やNGOなどにも貸出を行う

(2) 姉妹都市原爆パネル展 500千円

概要： 会員自治体に海外姉妹都市での原爆展（パネル展）を呼びかけ、実施される場合には、原爆写真ポスター、ビデオ、写真集の提供・送付を行う

(3) 各種会議への支援事業 1,500千円

第7回平和市長会議総会  
第4回核兵器廃絶一地球市民集会ナガサキ

6 事務経費 3,500千円 (2,800千円)

事務局事務運営にかかる嘱託員人件費、郵送料、電話使用料、消耗品購入、事務協議のための旅費、手数料、パンフレット作成、加入案内用DVD作成、印刷製本費など

7 基金積立金 0千円 (3,000千円)

特別事業準備基金への積立金

8 予備費 565千円 (462千円)

支出予算額合計 14,565千円 (13,898千円)

---